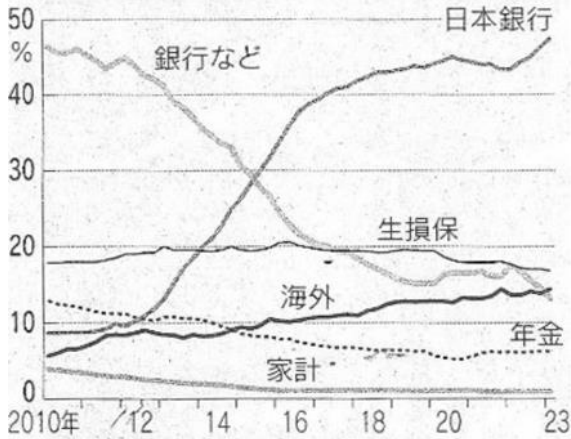


- 11/15・日本国債の保有 海外勢、邦銀超え 3月末 14.5% 日銀・生保に次ぐ3位に<1>  
・米消費者物価 10月 3.2%上昇 市場予想下回る 追加利上げ観測後退 <2>  
・イスラエル軍 ガザ最大の病院(シファ)で「作戦」 ハマスに投降求める  
・GDP年率 2.1%減 7~9月実質 3四半期ぶりマイナス 個人消費落ち込む
- 11/16・緩む米物価高、金利低下 利上げ観測ほぼゼロに ドル全面安、円 150円台  
・米小売売上高 7ヶ月ぶり減 10月 0.1% 消費先行きに不透明感  
・米卸売物価、10月 0.5%低下 市場予測から一転 ガソリン急落響く  
・米中、軍事対話再開で合意 首脳会談 偶発的な衝突防ぐ <3>  
 危うい協調、主張は譲らず 米、輸出規制「続ける」 中国、台湾問題「最も敏感」  
 バイデン氏「米中関係、正常に戻す」、「習氏は独裁者」  
・IPEF(インド太平洋経済枠組み)「合意」同床異夢 <4>  
 内向く米 実利の東南ア 貿易に溝、対中結束遠く  
・訪日客、コロナ前超え 10月 251万人、韓国や台湾など回復 中国は35%止まり  
・国連安保理、ガザ「戦闘休止」要請 決議案、5回目で採決 米は棄権
- 11/17・米企業、習氏を「歓迎」 アップルやクアルコム首脳、夕食会出席  
・NY原油 4ヶ月ぶり安値 先物 72.9ドル 米で需要減観測  
・10月対米輸出額最高 自動車伸び 中国向けは低調
- 11/18・日中首脳、対立抱え利益追求 戦略的互惠」を再確認 懸案解決、道筋見えず<5>  
 鉱物輸出で枠組み 処理水は専門家協議  
・習氏、経済分断けん制 APEC演説 米の規制念頭「開放堅持を」  
・ガザ衝突、世界でデモ拡大 8割「パレスチナ支持」 <6>  
・日韓で脱炭素燃料調達 両首脳表明 水素やアンモニア供給網創設 量子技術でも  
・OPEC プラス追加減産検討か ガザ侵攻に反発
- 11/19・米消費、減速感強まる ウォルマートなど販売鈍化 余剰貯蓄の効果息切れ  
 耐久財や高額品不振 レジャーにも弱さ 低所得層、支出削減の動き  
・APEC インドネシアなど独自声明 中東・ウクライナで溝深く
- 11/20・日経平均バブル後高値 一時 3万 3800円台 米利上げ停止を好感
- 11/21・アルゼンチン大統領にミレイ氏右派政権、米と関係改善へ 中銀廃止やドル化公約

<1>

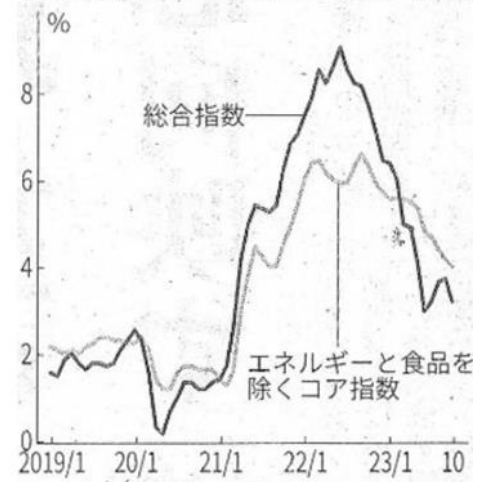
日本国債を保有する海外勢の割合が3月に邦銀を上回った



(出所) 財務省資料や資金循環統計を参考に作成  
 (注) 生損保は生命保険・損害保険会社など、国債は財投債や国庫短期証券を含む

<2>

米消費者物価の鈍化ペースが焦点



(注) 前年同月上昇率  
 (出所) 米労働省

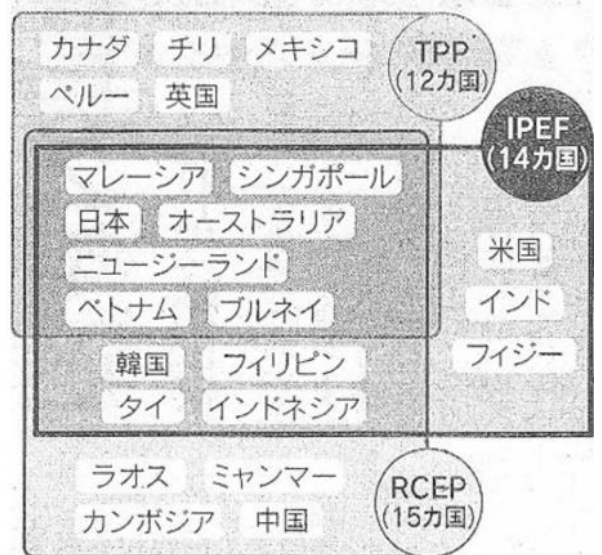
<3>

米中首脳会談のポイント

- 途絶えていた米中の軍事当局の対話再開
- 数週間以内に米中の国防相が会談
- バイデン氏が台湾海峡の平和と安定の重要性を提起
- 習氏が台湾を「必ず統一する」と改めて表明
- 習氏が半導体などの対中輸出規制の撤廃要求、バイデン氏は拒否
- 米国で乱用が問題になっている医療用麻薬の対策で協力
- AIや気候変動対策に関する政府間対話を立ち上げ

<4>

IPEFは14カ国で構成されている



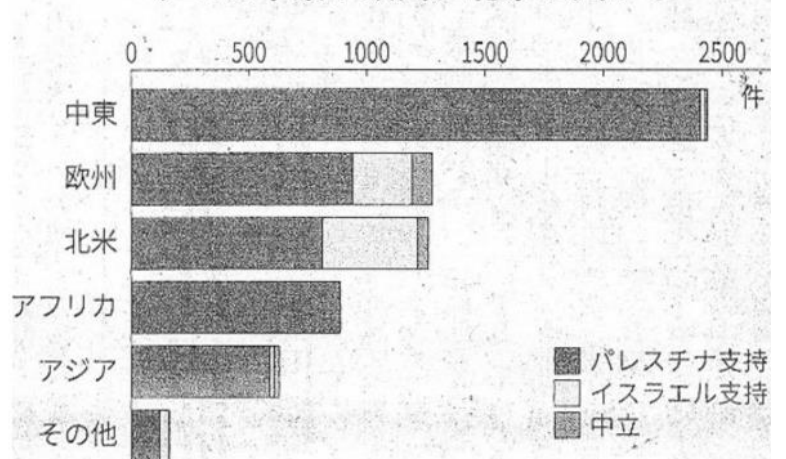
<5>

日中首脳会談のポイント

- 「戦略的互惠関係」を包括的に推進
- 日中ハイレベル経済対話を適切な時期に開催
- 日中輸出管理対話を立ち上げ。習氏は「デカップリング(分断)は誰の利益にもならない」と指摘
- 首相は日本の排他的経済水域 (EEZ) 内に設置のプイの即時撤去を要求
- 首相は中国が拘束した邦人の即時解放を求める
- 処理水問題は専門家レベルで科学に立脚した議論。習氏は「核汚染水」と発言。首相は日本産食品の輸入規制の即時撤廃要求

<6>

デモは中東や欧州、北米に広がる



(注) 米武力紛争発生地・事件データプロジェクト (ACLED) のデータから作成。集計期間は10月7日から11月10日